

会長	常務理事	事務局	事務局長	係長	係
1) 第21号				築山社福協だより	

平成9年6月1日発行

第21号

平 9. 6. 1 議 會 社 会 福 祉 協 議 会 長 東 海 林 正 隆 (事 務 局)

築山社福協だより

テーマ：地域福祉活動メニュー選択事業

デテファウブラ「アラビア語で他人事ではない」と言う言葉に出会ったのは23歳の年、ある中学校長の学校経営方針の第一行目のことであつた。そしてつい最近、新聞の中東関係のコラムで二度目の対面をした。この場合のように一度耳にした程度で心に残るような言葉がある。偶然の産物であるのいつまでも忘れないうのは言葉との出会いというものであらう。

同じような例で、「教師は五者でなければならぬ」と言う言葉を聞いたことがある。かなり以前、ラジオで予備校の先生が話していたことである。五者というのは学者・易者・医者・役者・走者の五つである。教師は学問をするだけではだめで、子供の将来を占う者であり、健康を気遣う人でもある。生徒指導の場合で



学校は町の文化センター

築山小学校長 高田 順

は色々な顔を演じ分けなくてはならないし、何よりも活動的でなくてはならないと言うことの方である。もっとも走者については、御者(ナビゲーター)と言う人もいるし、筆者(文を書く人)という使い方もあるらしい。

何はともあれ、教師というのは大変な職業であるようだ。

学校の先生にとって人と人との関係は何よりも大切な事柄である。いや、ほとんどそれが仕事と言って良い。子供・保護者・同僚や先輩・地域の人たちのいづれとも良い関係を築くことが仕事であり、能力である。

これからの社会は生涯学習社会と言われる。学校はその基礎を構築する場と考えられている。学社融合とか、学校の生涯学習化とか、地域に開かれた学校などというのは、そのような時代を映す言葉であろう。築山小学校には立派な「郷土資料室」がある。本年はその隣に「築山ギャラリー」を開設し、併せて学校博物館の機能を持たせることとした。理科室や中庭の自然科学系をいれると、総合化されたことになる。

これらの利用になんとか地域の教



子育てグループ「ニコニコキッズ」

育力を役立てたいと思っている。PTAの協力を得て、地域から学校への発信を期待しているところである。21世紀には学校の任務は大きく変わるものである。学校が子供を中心にした地域の文化センターのような役割を担う日も近いのではないかと考える今日この頃である。

野尻 滋
松橋博之

(平成9年4月 檜山コミュニティセンター)

。三千円
。二千円
。五万円
。一万五千円
。一万円

奈良 幸子様
檜山交番所様
東海林正隆様
福田 福男様
渡辺 純三様
長門 ヨミ様
秋田市 様
東海林正隆様
南部公民館まつり実行委員会様
竹下 チエ様
加藤 若子様
小笹 鉄雄様
堀井喜一郎様
齊藤正二郎様
佐藤重一郎様
七尾 四郎様
渡辺 林作様
沼田 ノブ様
手賀登美子様
岡田 柳子様
野尻 滋様
吉田喜久次様

ご芳志まことにありがとうございます。地域福祉のため有効に活用させていただきます。

◎お願い
ご香典返し、篤志寄付は地元、築山地区社会福祉協議会へご協力をお願いいたします。

連絡先
会 長 東海林正隆
事務局 鈴木監三郎

「在宅介護支援センター」を開設しました!!

秋田市川口在宅介護支援センター
主任ソーシャルワーカー 平山 義成

築山地区にお住まいの皆様、はじめまして。「川口在宅介護支援センター」です。この四月一日より、川口保育所と合築で運営されており、川口老人デイサービスセンター内に、秋田市より事業を委託され業務を開始いたしました。秋田市内におきましては十二ヶ所目の開設となります。日常用語においてカタカナが氾濫する昨今、福祉の世界でも御多分に漏れず、福祉の名称一つ取ってみてもカタカナが使用され、利用なされる皆様にとっては、一体何を意味しているのか理解できずに、利用したい気持ちがあっても、尻込みされてしまう方も多いのではないかと思います。

在宅介護支援センターもご覧の通り多少横文字は入っておりますが、前半部分でお解りの通り、在宅介護を支援していくための機関です。もっと詳しくご説明いたしますと、在宅介護支援センターは、在宅で暮らす高令者の方々や体の弱ってきた、或いは寝たきり、痴呆の高令者の方々を介護されているご家族から、福祉に関する相談を受け付け、適切な指導や助言を行ったり、利用できる制度についての説明や手続きの仕方についての説明を行い、また自分で手続きが困難な方に代ってお手伝いをしたり、介護用品や介護機器の紹介、あっせんなどを行うことにより、高令者の方々やご家族がより安心して在宅での生活が送れるよう、身近な相談窓口として活動する機関です。相談員と看護婦の2名体制で電話による相談の他、自宅まで伺いしての相談、或いはセンターに来ていただいでの相談等にお応えします。また夜間や休日についても、母体施設である特養ホーム太平荘で相談を受け付け、速やかに対応できる体制をとっております。

しかし、公的制度を活用しても全体を支えられる訳ではありません。在宅生活を継続していくためには、自己の力は勿論のこと、地域の方々の理解と協力、適切な福祉サービスの活用や福祉、医療、保健の連携といった人のつながりが必要不可欠と考えています。私共もそのネットワークの中の一つとして、地域に密着した活動を行って参りたいと思っておりますので、何卒御指導、御協力のほど宜しくお願い申し上げます。

高齢者憩いの室

場 所 檜山コミュニティセンター
利用者 六十五歳以上の方
利用曜日 火・金曜日 9:00~16:00
使用用具 マッサージャー、テレビ、囲碁・将棋

但しマジシャンは不可
※使用していない右の用具がありましたら御寄付お願いいたします。

編集後記

◆今年冬が比較的楽だったせいか、桜の開花も早かったようです。当社福協の総会も、最近の福祉への関心の高まりから、お花見時の好天にもかかわらず大勢参加いただきました。

◆新しい秋田県知事が誕生。いつも言われて来た高齢化、少子化への対応も更に進歩することでしょう。

◆みんなで協力し合って、より住よい地域社会をつくりましょう。

◆福祉に対する関心が高まっているこの頃。

◆ご意見をお持ちの方は、何でも結構ですからこの社協だよりに原稿をお寄せ下さい。ご連絡いただければいただきに上ります。

連絡先
野尻 滋
松橋博之

築山地区民生委員・児童委員名簿 (平成9年5月1日現在)

皆さん、何かご相談がありましたら、下記の方にご連絡下さい。

- ・榎山南新町上丁 戸坂 昌成様 十万円 (亡祖父 千里さん)
- ・榎山太田町 鈴木 吉也様 一万円 (亡妻 チエさん)
- ・榎山南中町 寺内 進一様 五万円 (亡父 勇治郎さん)
- ・榎山南中町 松葉 重敏様 七万円 (亡妻 俊さん)
- ・榎山南中町 浅利 エイ様 三万円 (亡母 サタさん)
- ・南通築地 林 匠様 一万円 (亡母 房子さん)
- ・榎山南中町 榎尾萬里子様 三万円 (亡母 コトさん)
- ・榎山南中町 松葉 智子様 十万円 (亡父 重敏さん)
- ・南通みその町 小繩 太郎様 二万円 (亡母 チヨさん)
- ・榎山石塚町 川崎 昭子様 五万円 (亡夫 正男さん)

◎善意のご寄付
 (平成7年9月1日～平成8年3月31日)
 ◎香典返し

- 募金実績**
- ◎共同募金(赤い羽根)(平成7年10月) 二六九万三六四円
 - ◎歳末たすけあい募金(平成7年12月) 五三万二九四〇円
 - ◎日赤社員増強運動(平成8年5月) 一六九万六三〇〇円
 - ◎共同募金(赤い羽根)(平成8年10月) 二六〇万三〇五六円
 - ◎歳末たすけあい募金(平成8年12月) 五五万五二二五円

- ・榎山南中町 佐々木公典様 五万円 (亡父 次郎さん)
- ・榎山南中町 今野健吉郎様 十万円 (亡母 タノさん)
- (平成8年4月1日～平成9年4月30日)
- ・榎山登町 斎藤 辰嗣様 五万円 (亡父 嗣郎さん)
- ・榎山寺小路 鈴木昌太郎様 十万円 (亡父 才次郎さん)
- ・榎山本町 幸野カヨ子様 五万円 (亡夫 敏夫さん)
- ・榎山愛宕下 石川 俊平様 三万円 (亡母 ナツエさん)
- ・外旭川字八幡田 菅 景一郎様 三万円 (亡母 カツエさん)
- ・榎山登町 佐藤陽一郎様 三万円 (亡父 忠太郎さん)
- ・南通築地 加賀谷玲子様 五万円 (亡母 高田甲さん)
- ・外旭川字大畑 磯崎 稔様 三万円 (亡母 エンさん)
- ・榎山愛宕下 内藤 真吾様 十万円 (亡父 良平さん)
- ・榎山登町 伊藤義一郎様 五万円 (亡母 キヌさん)
- ・榎山川口境 藤原 賢一様 五万円 (亡母 千代さん)

◎篤志

- (平成7年9月1日～平成8年3月31日)
- ・十万円 小松 信一様
- ・一万円 東海林正隆様
- ・五千元 築山学区町内会長連絡協議会様
- ・五千元 南部公民館まつり実行委員会様
- ・五千元 築山小学校様



高田築山小学校長のごあいさつ



東海林会長のあいさつ



山田さんのお礼の言葉



来賓の方々



司会の鈴木事務局長



平成8年度 恒例の敬老会開かる

平成8年9月11日(水)、午前11時30分からいつもの榎山コミュニティセンターで盛会裡に行われた。対象者は1,041名、但し出席者は151名。式典終了後、築山小学校児童によるかわいい演技、若月流及び宝扇都端喜社中による新日本舞踊、若竹会による民謡で賑った。全員再開を願って散会。



鈴木慶治郎さん勇退

鈴木慶治郎さんの愛称で、みんなから親まれ、昭和54年から18年間民生委員・児童委員として活躍されてきた鈴木慶治郎さんが事情があり職を退くことになりました。長い間お疲れさまでした。代って、榎山太田町の区域は当社福協の常任理事である樋渡久孝さんに頑張ってもらいたいことになりました。



当地区社福協の副会長に 瀬川美代さん

武田ケイ子副会長が一人身の都合により、その職を退かれたために、会計(常任理事)を勤めておりました瀬川美代さんが新副会長となること4月26日(土)の総会で決まりました。なお会計は鈴木事務局長が当分の間兼務。

